

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 18	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 施設内土壌水分の計測と活用方法	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 みどりクラウドなど環境計測機器の導入が進む中で、土壌水分計の活用について進んでいない現状がある。土壌水分計は設置の状況により値の普遍性が乏しく単独では灌水管理などに活用することが困難であるが、相位別など多点の測定を行えば、水分状態の縦および横方向の動態が把握でき、また、地下水位や降雨の影響も把握できると期待できるため、測定方法の検討をお願いしたい。また、その結果を灌水管理などに利用する手法もご検討いただきたい。 併せて、森林土木分野で開発されている貫入式土壌水分計の施設内環境把握への応用もご検討いただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 貫入式土壌水分計は京都大学大学院農学研究科で開発されHP等で公表されています。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部 土壌環境研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 土壌や栽培培地での保水性や水分動態については、土壌の物理性診断において重要な項目になると考えています。今後の物理性診断へ向けて、現地での環境測定機器で測定されている水分計等のデータを生かしていく方向で、現地調査等に協力します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			